

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年10月1日

鳥取県知事 殿

提出者

住 所 鳥取県米子市道笑町2丁目252番地

氏 名 大鉄工業株式会社 米子支店

支店長 野間 晴樹

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0859-22-9115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	大鉄工業株式会社 米子支店
事 業 場 の 所 在 地	鳥取県米子市道笑町2丁目252番地
事 業 の 種 類	総合建設工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和4年4月1日～令和4年9月30日

産業廃棄物処理計画における目標値

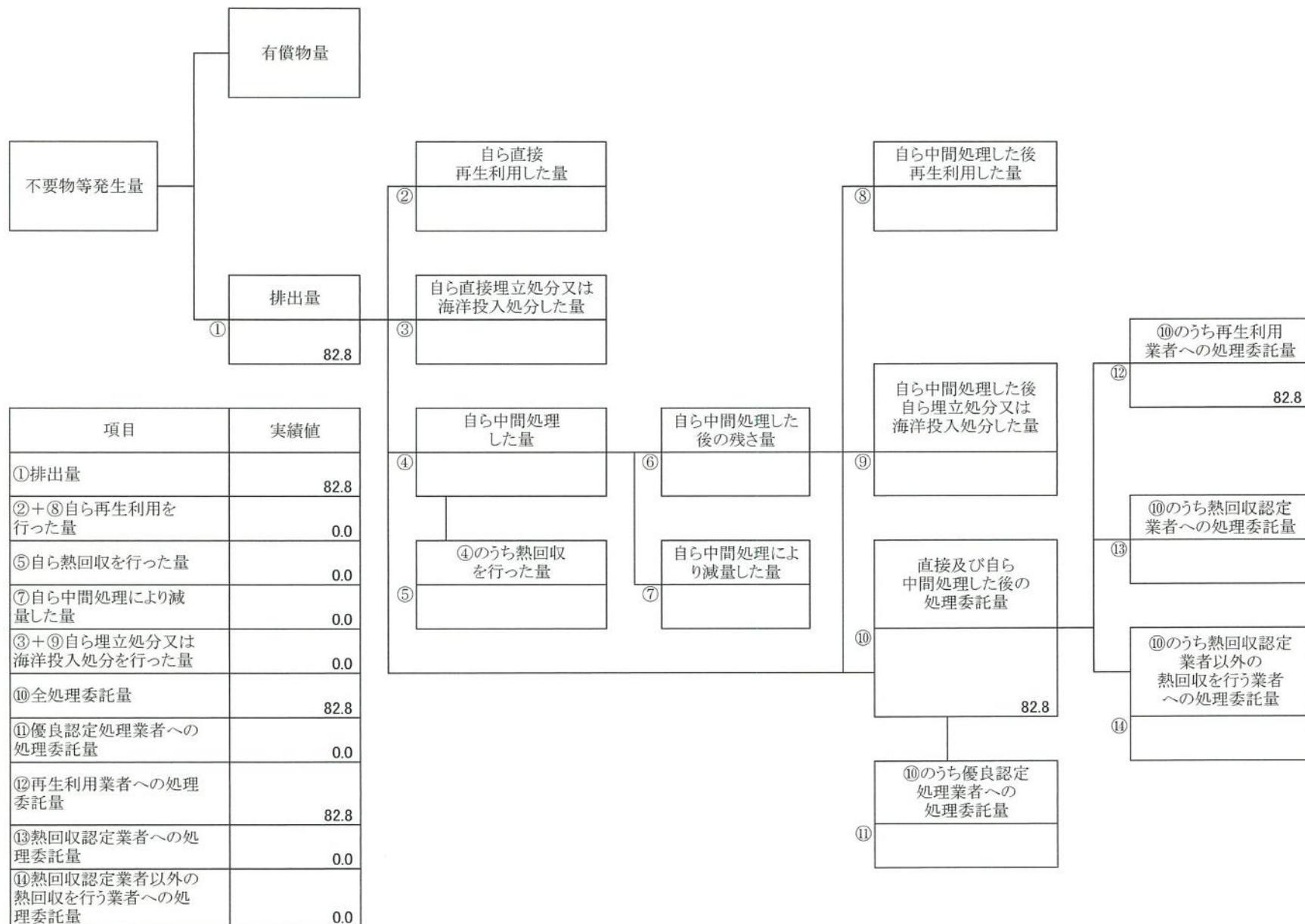
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1,051.3 t	全 処 理 委 託 量	1,051.3 t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 热 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	1,050.0 t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 产 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 处 分 又 は 海 洋 投 棄 处 分 を 行 う 产 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

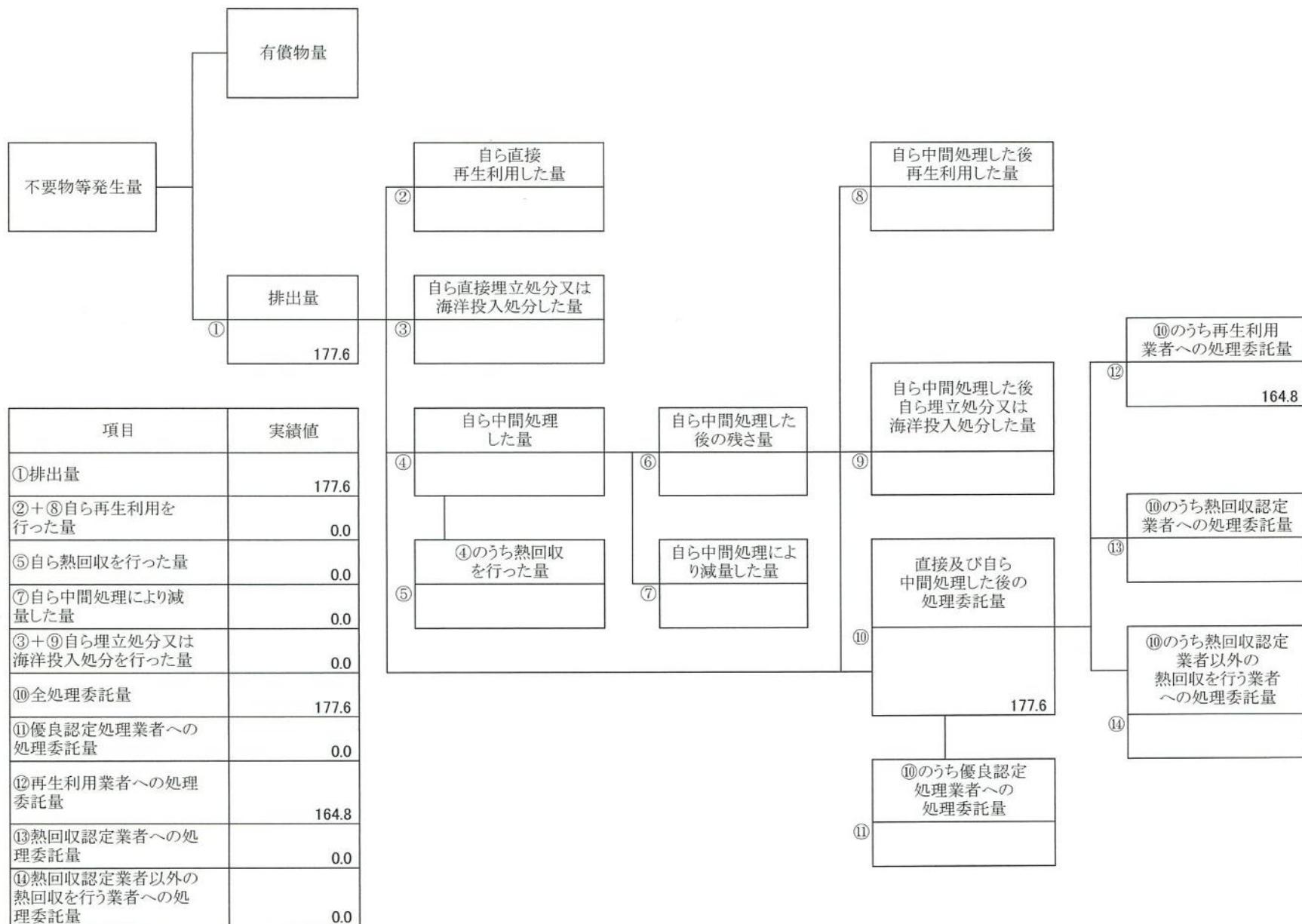
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)

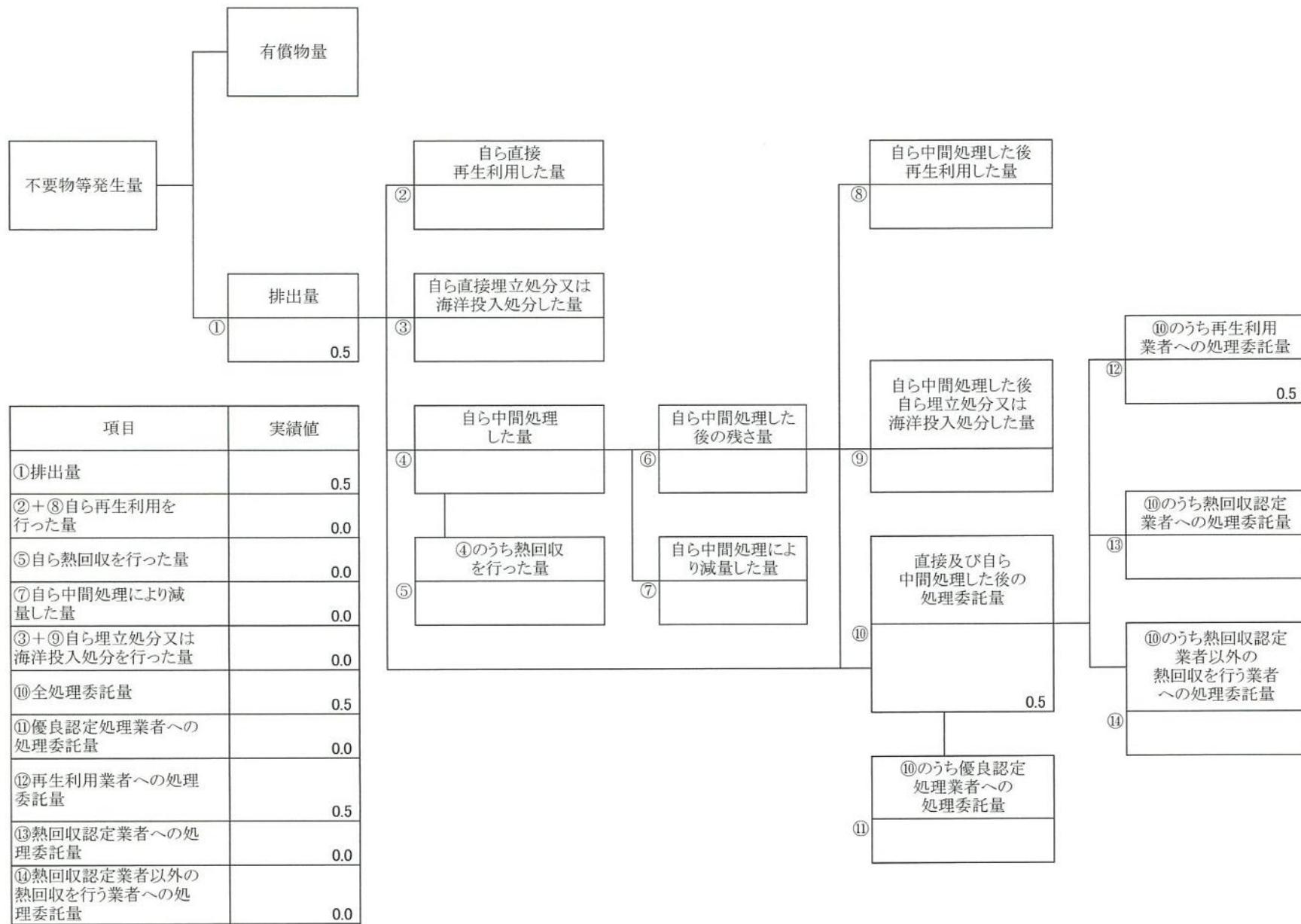
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

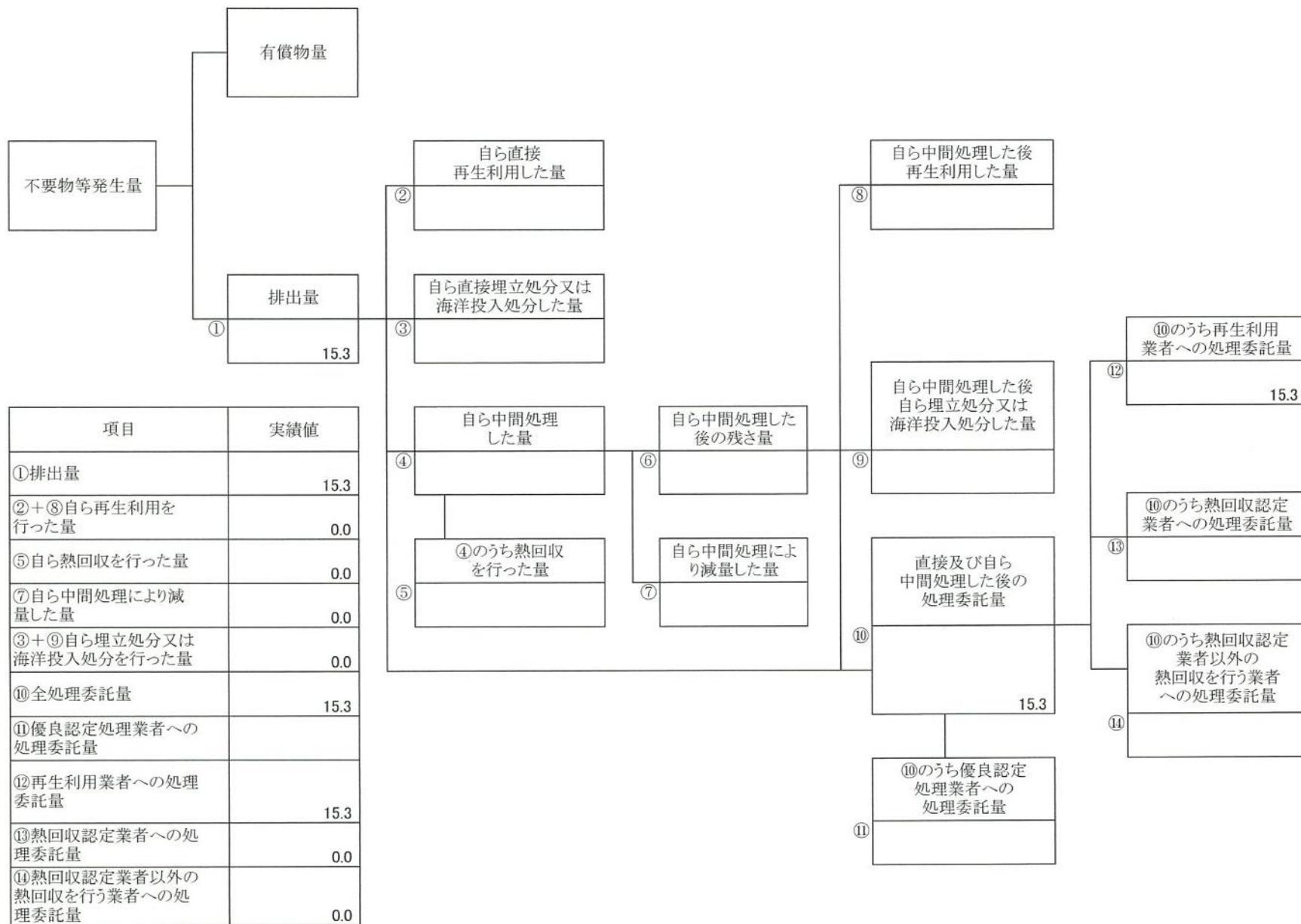
(単位:トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

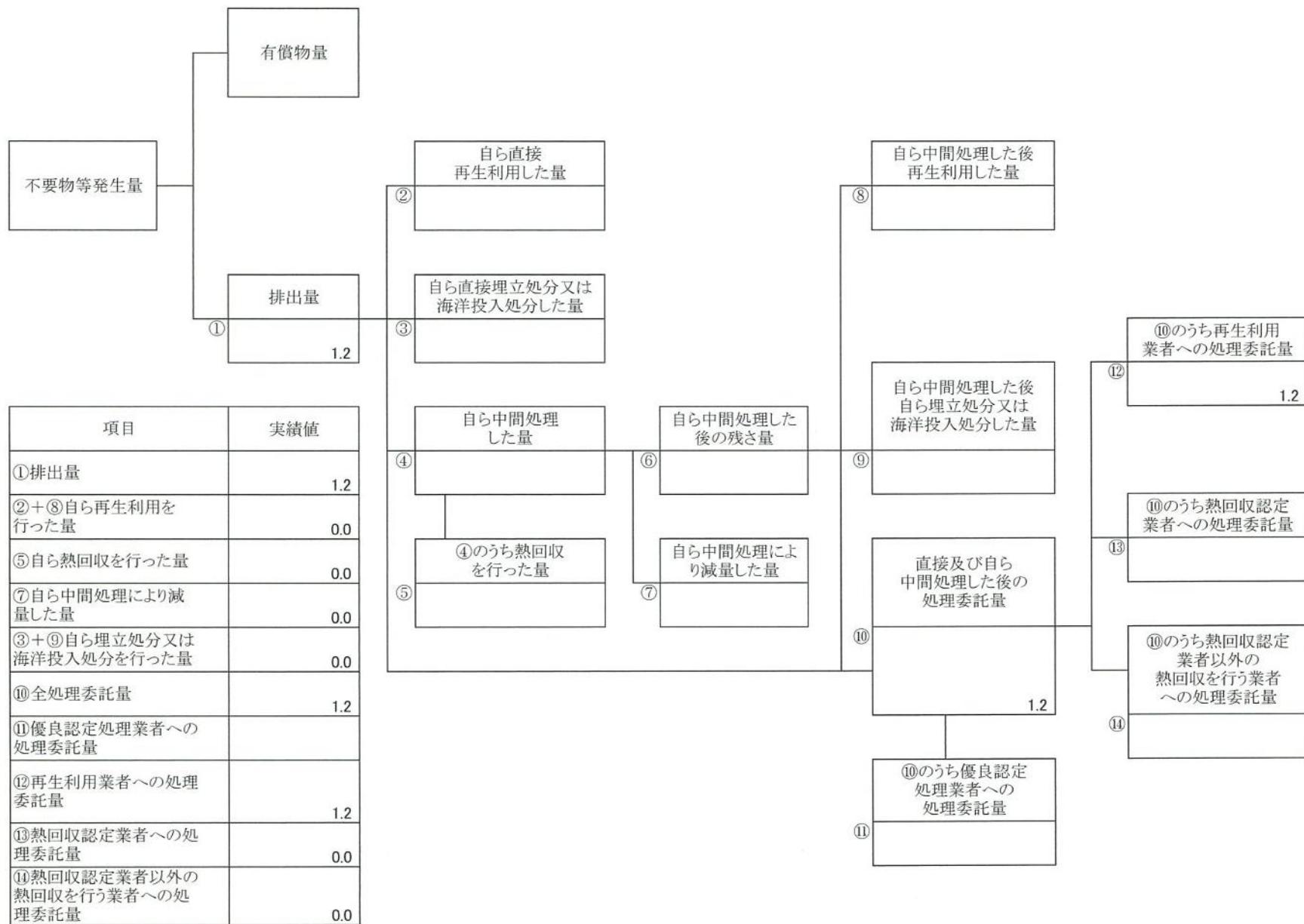
(単位:トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

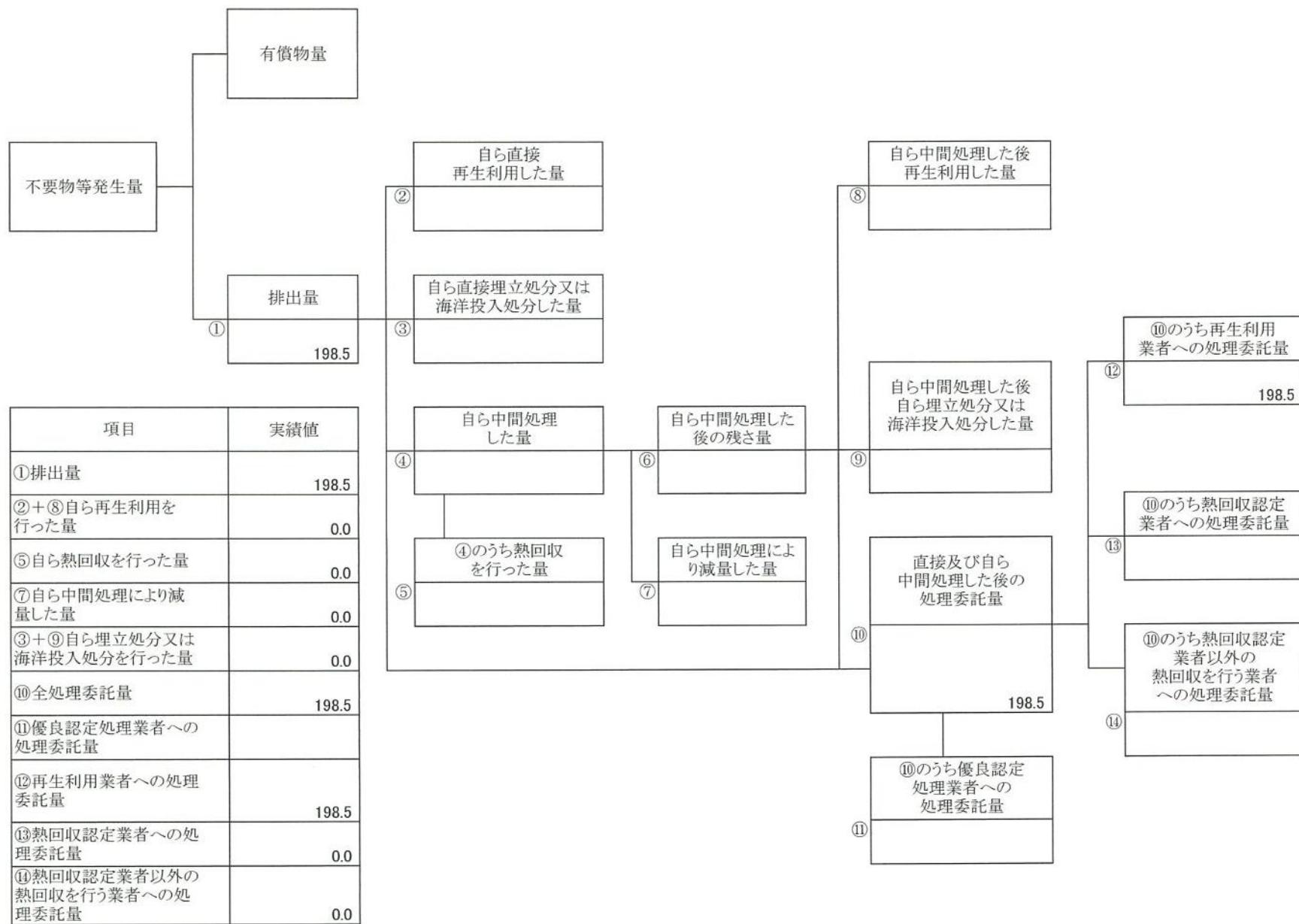
(単位:トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設木くず)

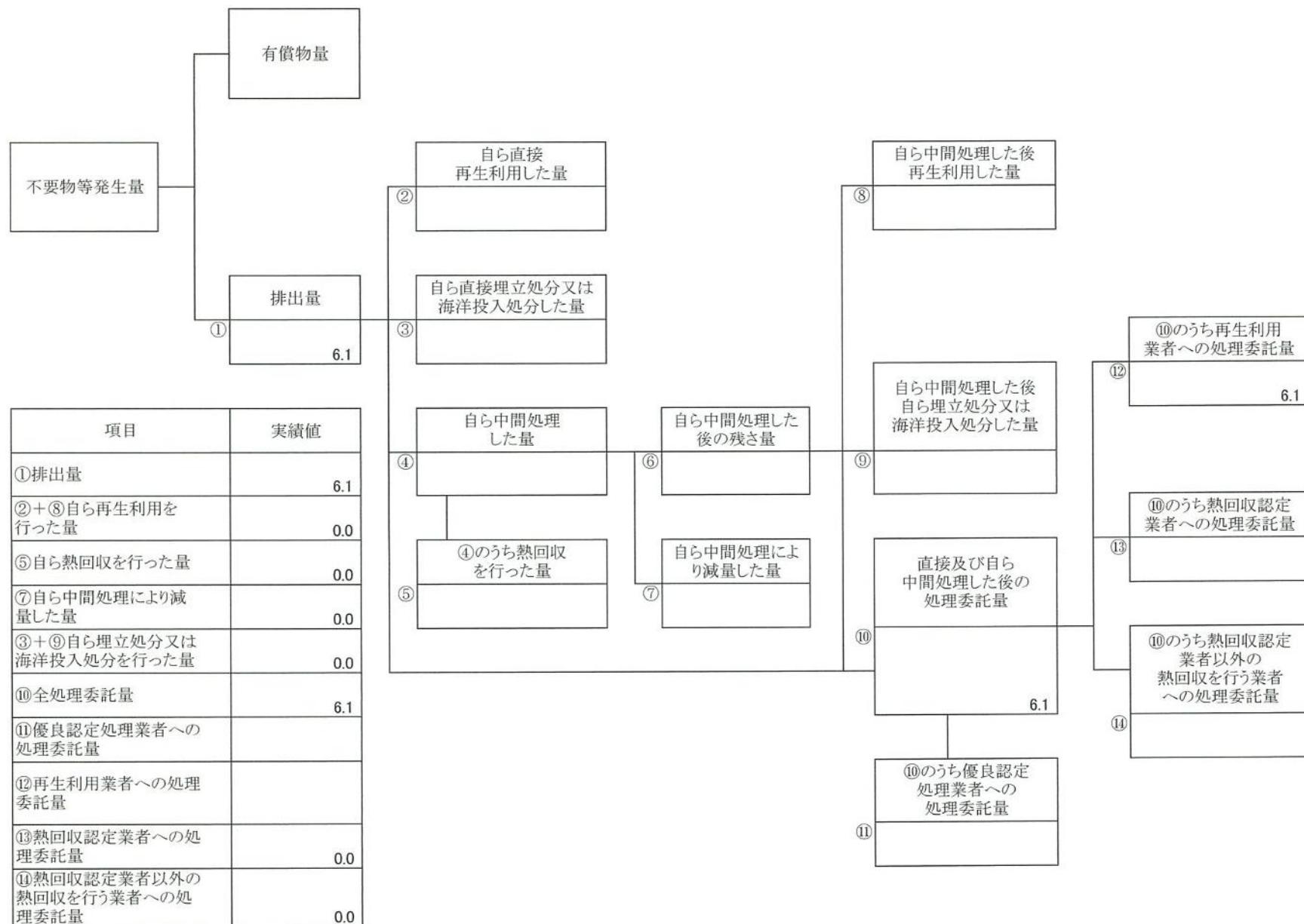
(単位:トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 伐採材・伐根材)

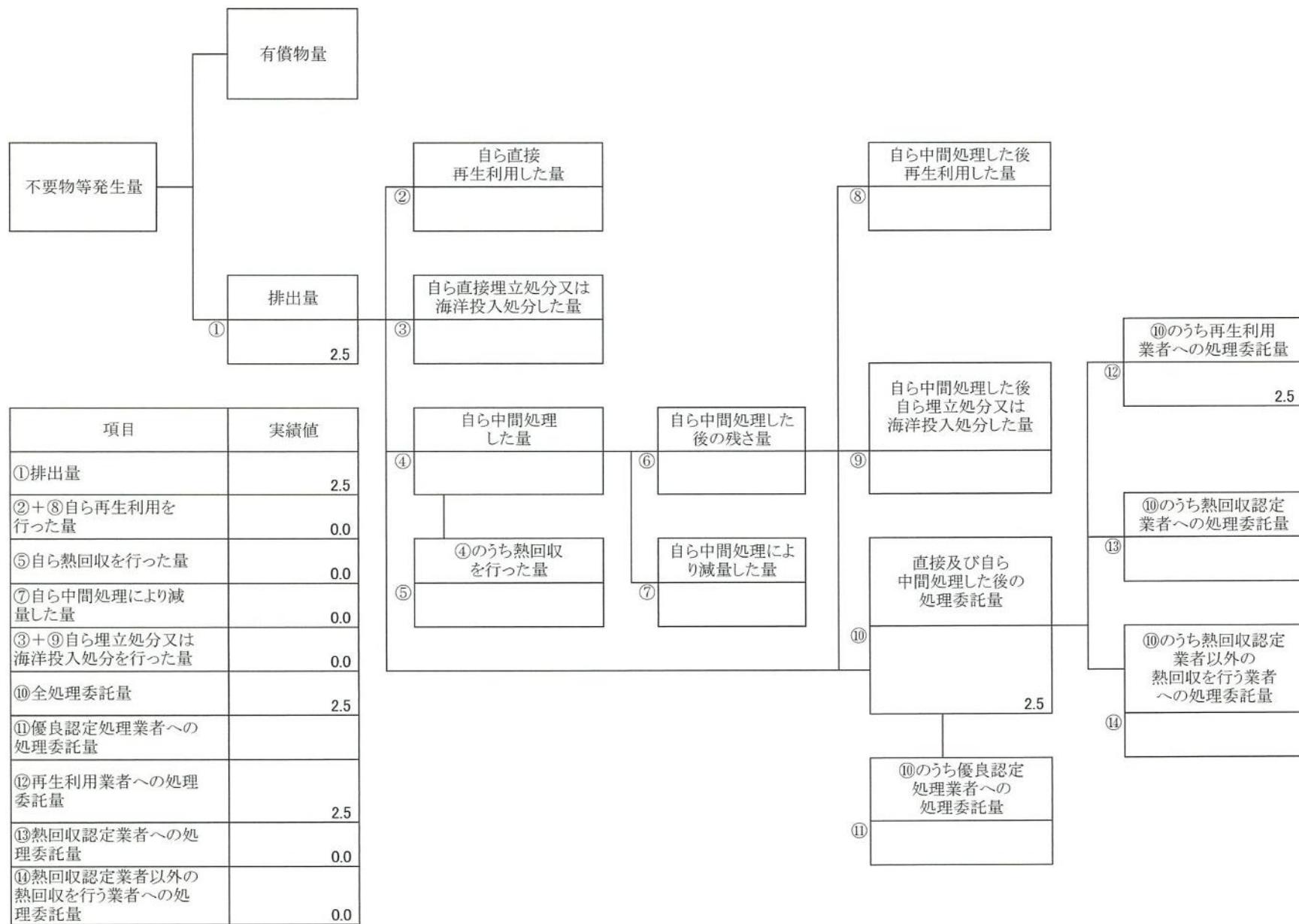
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

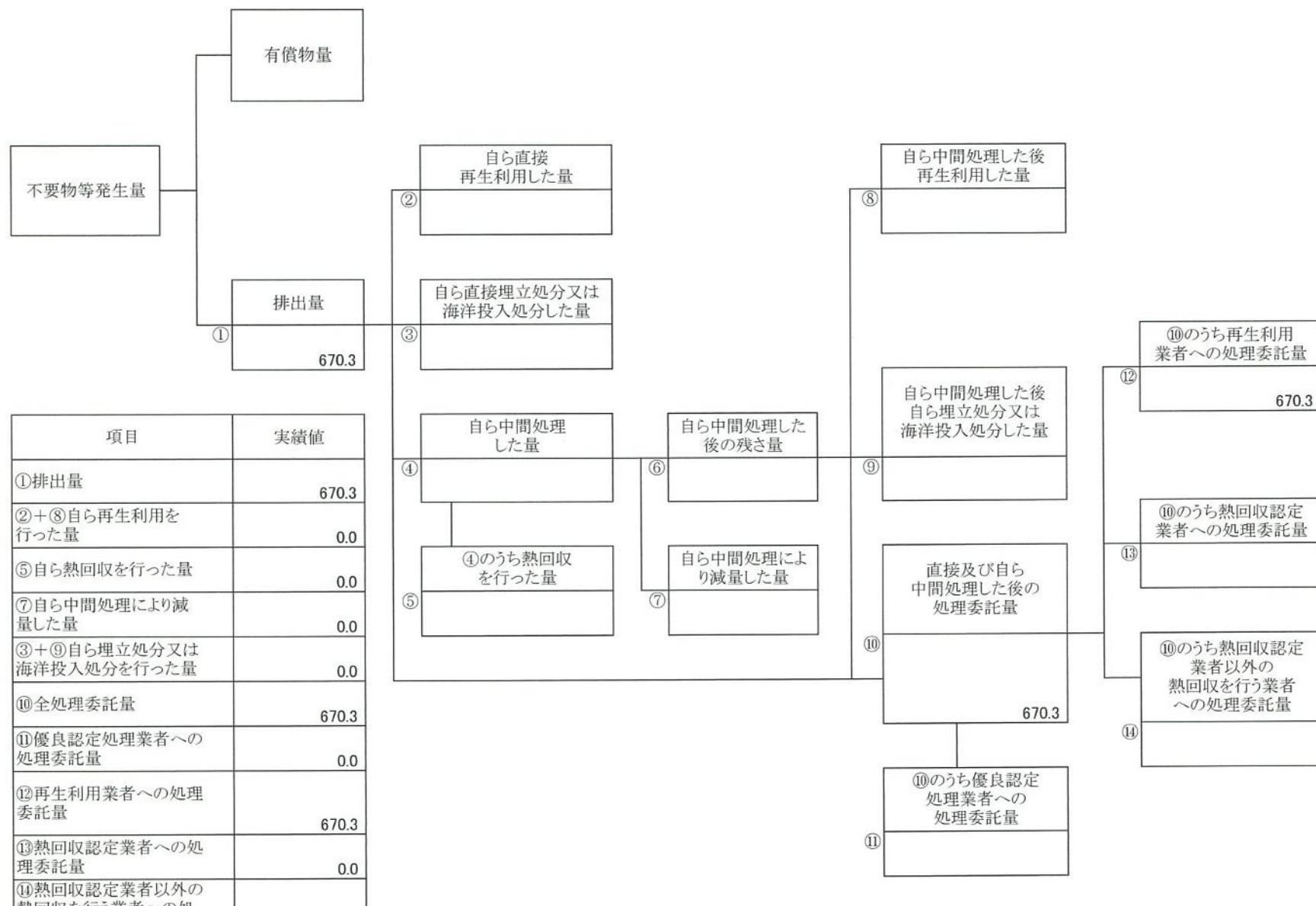
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

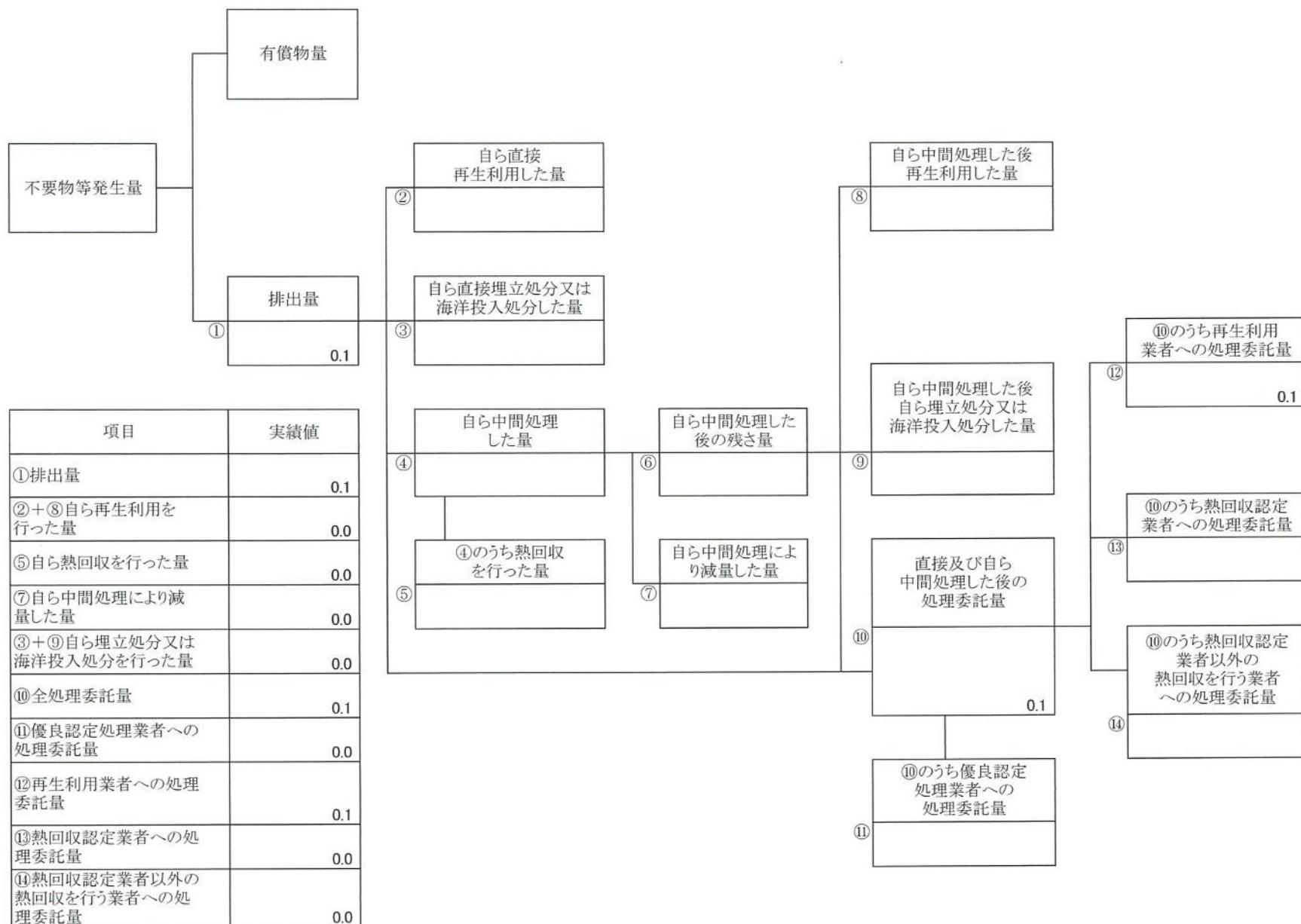
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類(ガラスくず))

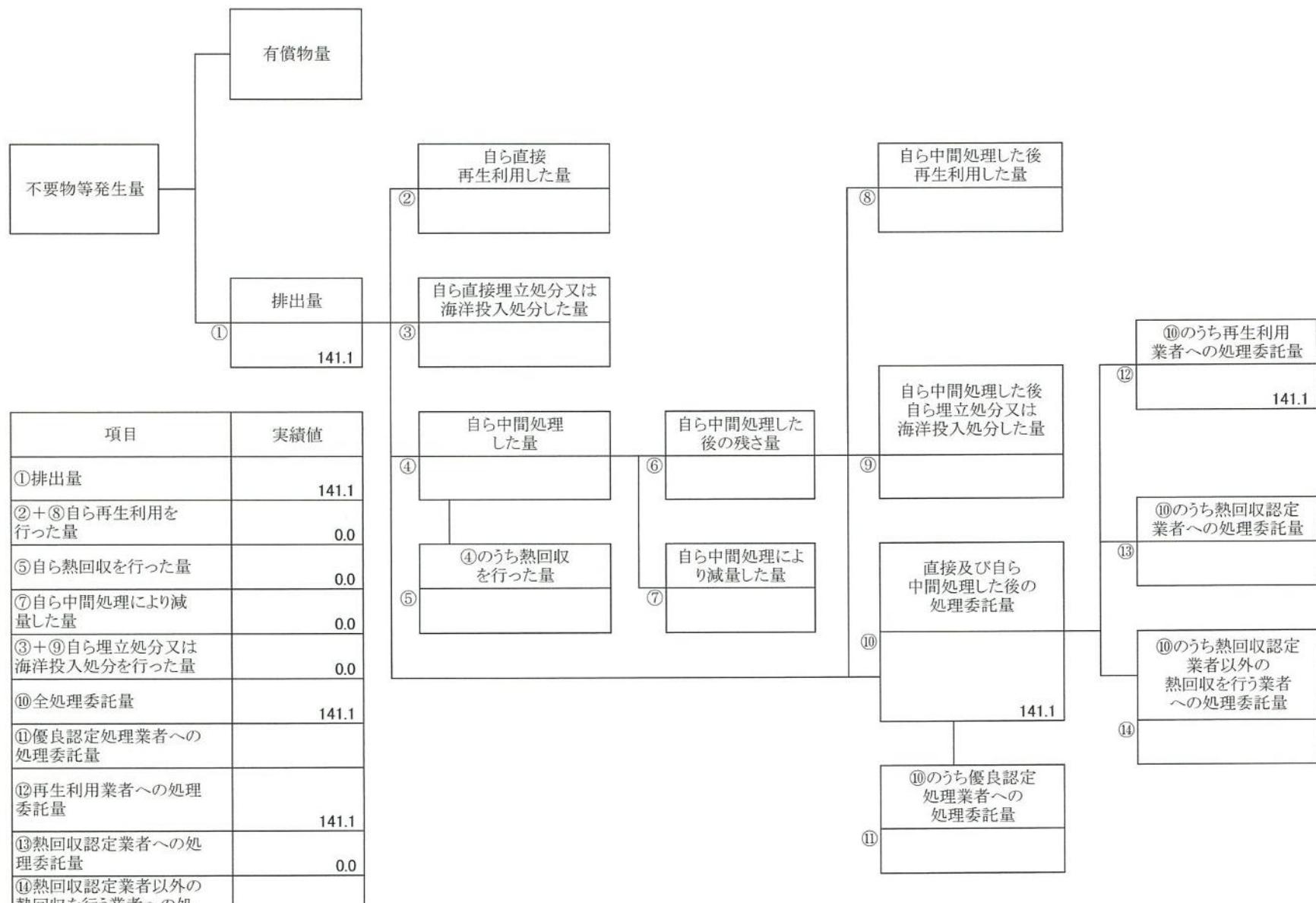
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

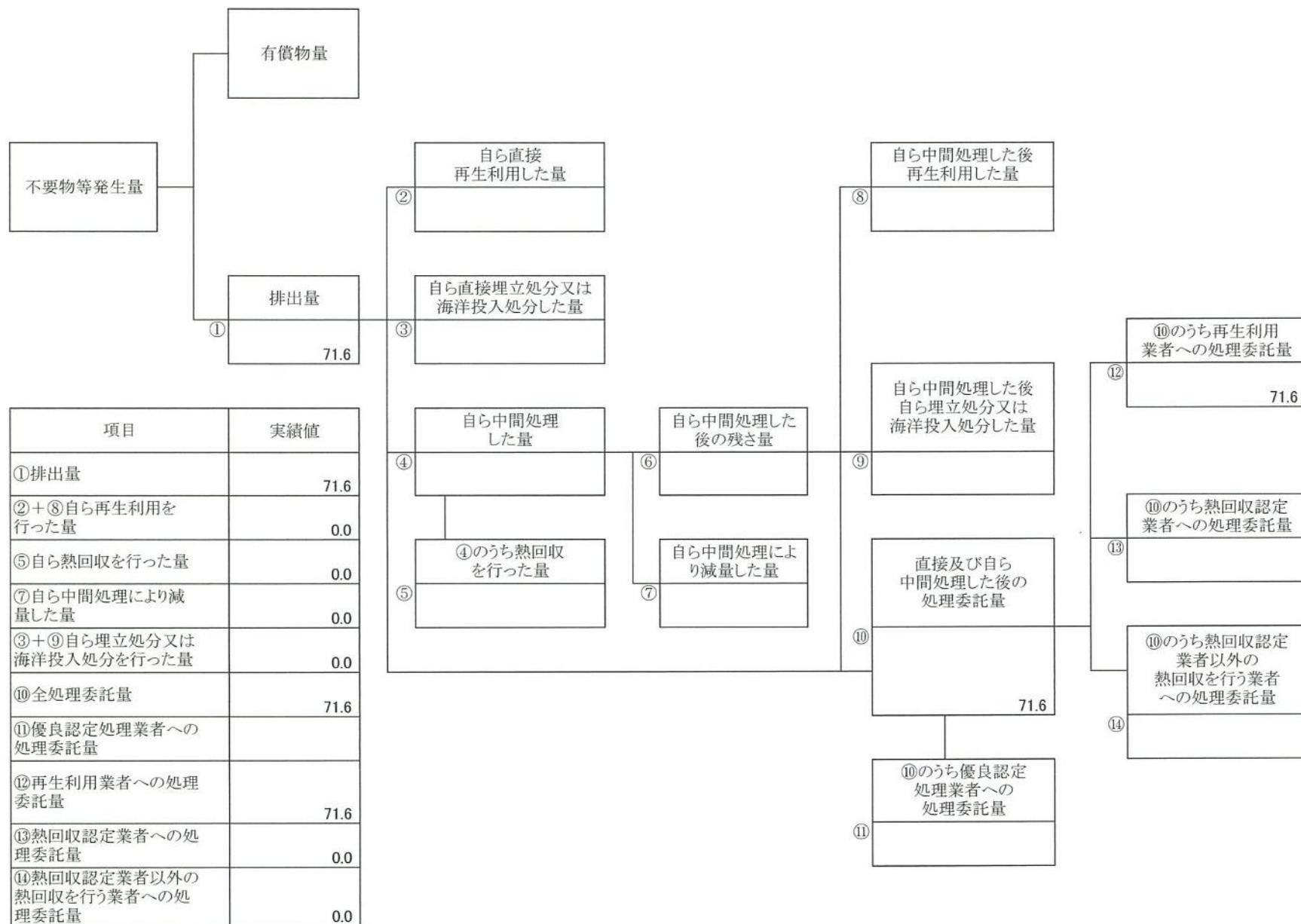
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

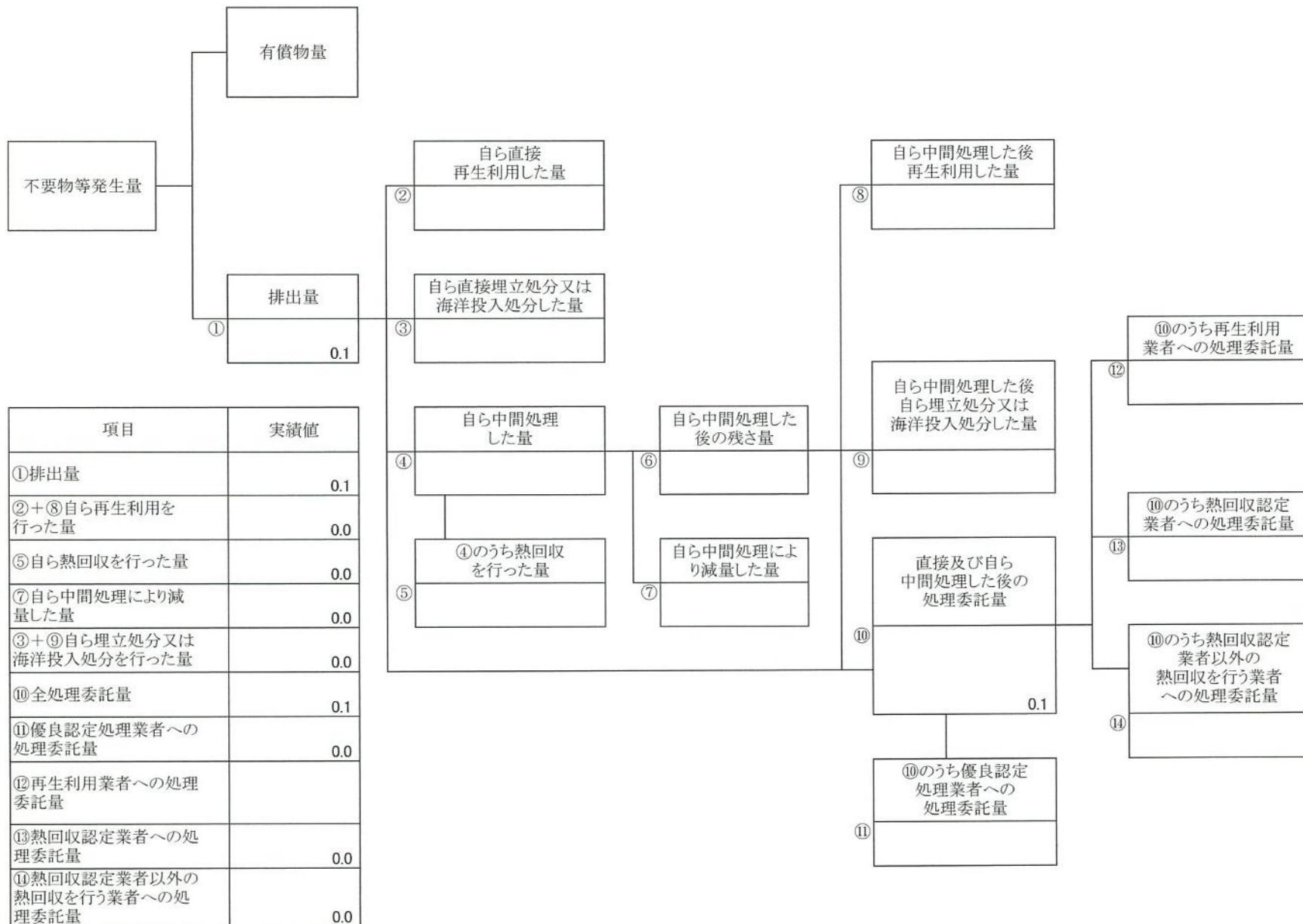
(単位:トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(安定型))

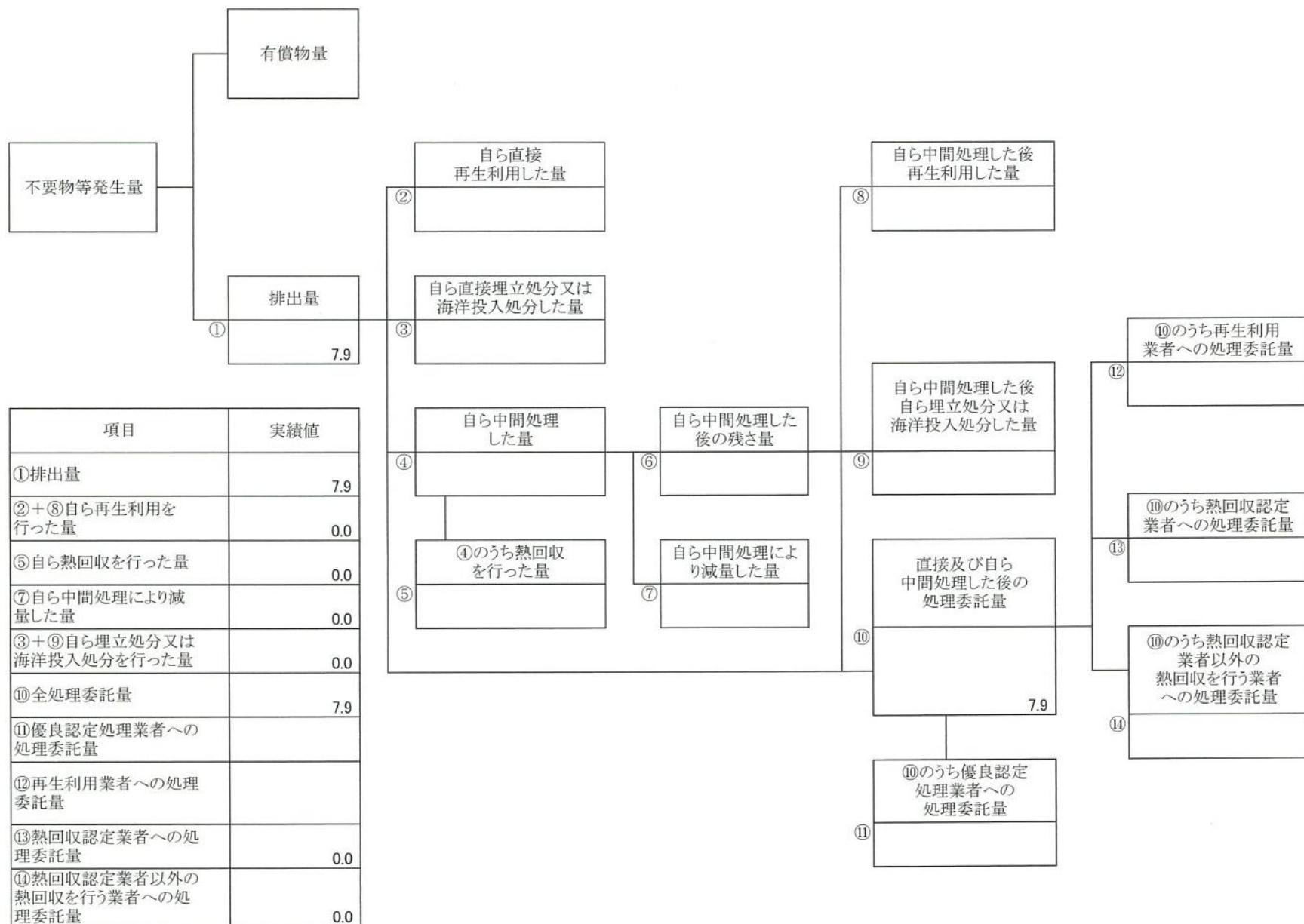
(単位:トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

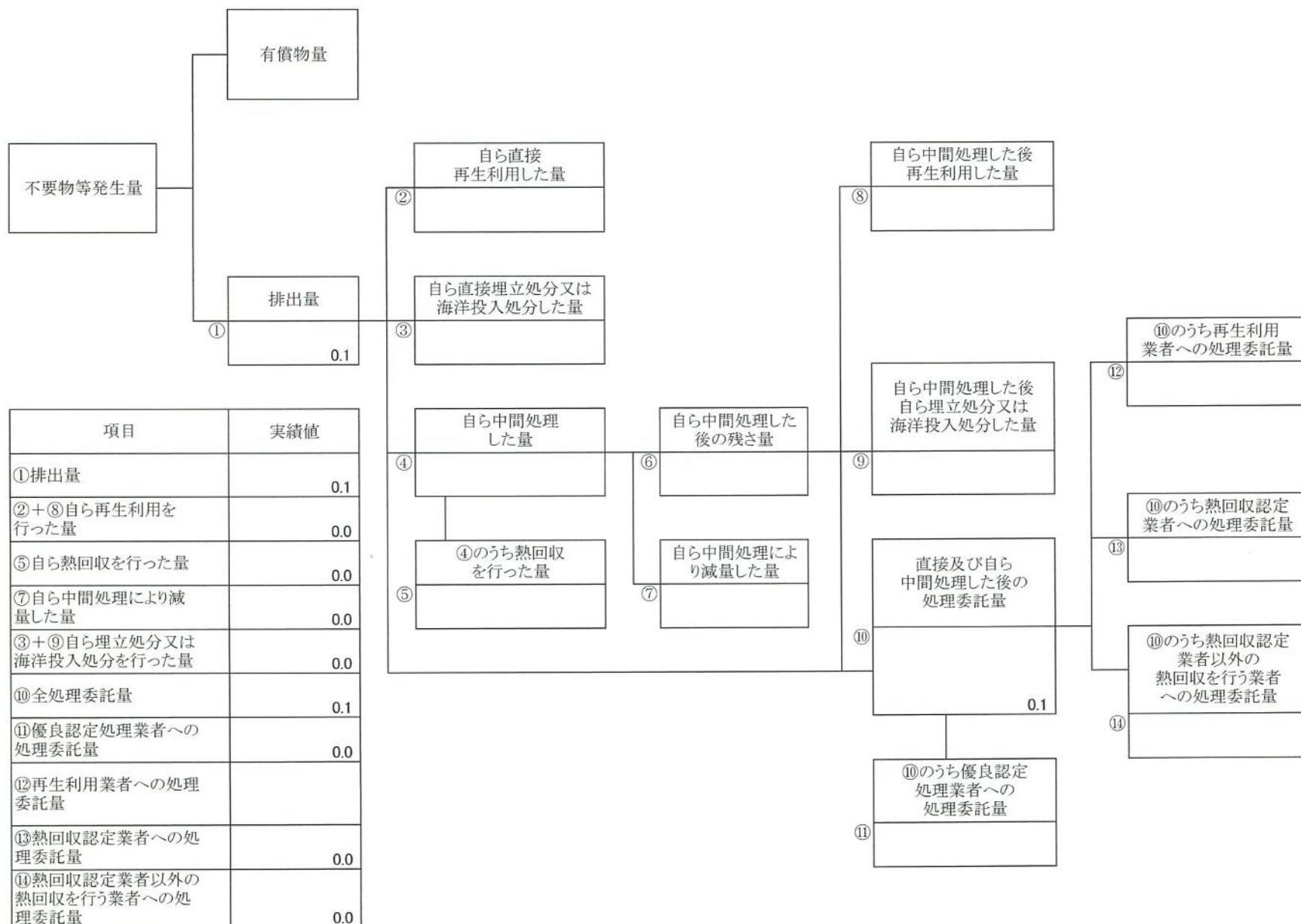
(単位:トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(石綿含有(石膏ボード)))

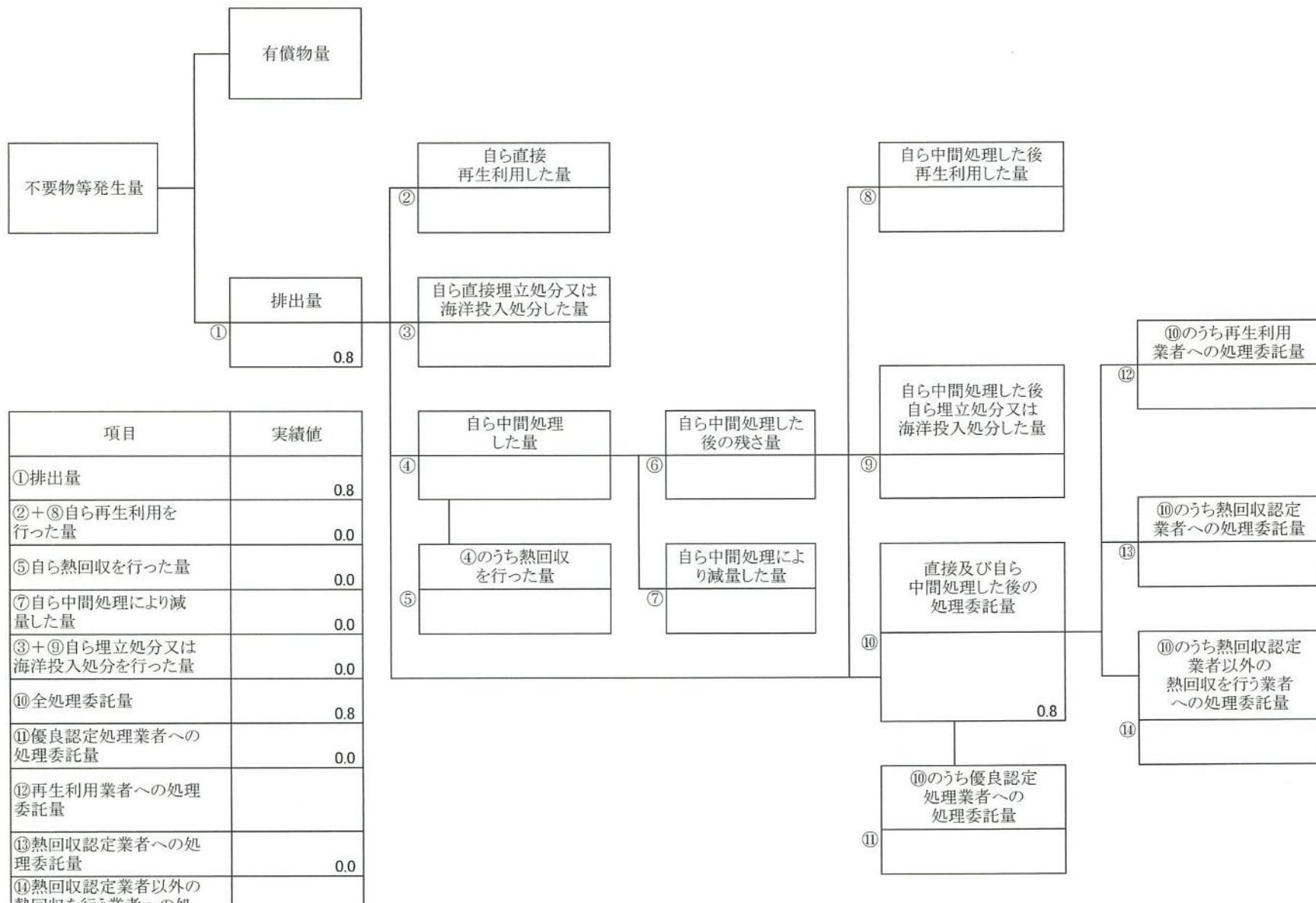
(単位:トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(石綿含有(スレート))

(単位:トン)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

【 参考資料 】 産業廃棄物処理計画実施状況報告書の入力用シート

産業廃棄物の種類	計画の実施状況													(1)直接及び自ら 再生利用した量 (t)	(2)自ら直接 処分又は海洋投 入処分した量 (t)	(3)自己直接埋立 した量 (t)	(4)自ら中間処理 した量 (t)	(5)(4)のうち 熱回収を行った量 (t)	(6)自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	(7)自ら中間処理 により減量した量 (t)	(8)自ら中間処理 した後自ら埋立処 分又は海洋投入 処分した量 (t)	(9)自ら中間処理 した後自ら埋立処 分又は海洋投入 処分した量 (t)	(11) = (1)-(2)-(3)-(4)+(5)-(6)-(7)-(8)-(9) = (12)+(13)+(14)+(15)				(16)優良認定処理業者 への処理委託量(t)
	名 称	委 託 先 に よ る 区 分	(12)再生利用業者への 処理委託量(t)	(13)熱回収認定業者 への処理委託量(t)	(14)熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量 (t)	(15)その他の処理業者 への処理委託量(t)																					
コンクリートがら	141.13													141.13	141.13												
アスファルト・コ ンクリートがら	71.62													71.62	71.62												
その他がれき類	670.35													670.35	670.35												
ガラスくず	0.14													0.14	0.14												
汚泥	82.81													82.81	82.81												
建設汚泥	177.55													177.55	164.80												
廃油	0.55													0.55	0.55												
廃プラスチック 類	15.33													15.33	15.33												
木くず	204.59													204.59	204.59												
紙くず	1.23													1.23	1.23												
安定型建設混 合廃棄物	0.13													0.13	0.13												
管理型建設混 合廃棄物	7.94													7.94													
金属くず	2.50													2.50	2.50												
石綿含有廃棄 物	0.90													0.90													
合計	1,376.76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,376.76	1,355	0	0	0	0	0										